

## 山行部・岩沢分科会 共同企画 古賀志山

日時：2018年3月25日

行程：松戸駅千葉銀前 6:10＝宇都宮森林公園駐車場 8:10－東稜コース入口 8:45－東稜見晴 9:40/10:05  
－古賀志山頂 10:10－御岳山頂 10:30－中岩 10:50/11:05－赤岩山 12:10－大日窟 12:35－不動滝 13:00  
－南コース分岐 13:25－駐車場 14:10＝温泉入浴＝松戸駅 18:20

今回の山行は山行部と岩沢分科会の共同企画で、「新人に岩稜帯歩きを安全に経験させる」という主旨でしたが、参加者18名中、新人は5名、ベテランにも好評の企画となりました。当日は松戸出発時点で快晴、良好な天候と思われましたが、宇都宮界隈は早朝にかけて降雨があったようで、高速道や一般道の路面が濡れていました。岩場の状態が心配されましたが特に問題は無く、岩稜帯以外は早春の低山ハイクの様相でした。唯一の問題点は花粉症、松林だけではなく檜林も有する山域で、18名の参加者にそれなりの影響を与えました。この時期、何よりも恐ろしい自然の力です。

いよいよこの山行での核心となる鎖場に到着、SLの手際良い段取りでロープを準備、安全確保体制を整えましたが、皆さんチャレンジ精神旺盛で確保無しで登攀に挑戦していました。もし不安があれば確保してもらえ、登攀しているところを見てアドバイスをしてもらえ、という意識が安心に繋がったようです。最初の鎖場通過後は、皆さん岩稜登攀に慣れたようで、手足捌きもスムーズになり、その後の鎖場を難なく通過していました。

このコースの最高の見晴場所は御岳山で、男体山をはじめ北関東の山々を眺望することが出来ました。赤岩山周辺の山道は地図には無いバリエーションルートです。ルートを間違えやすい箇所が幾つかありましたが、SLが事前に下見を行っており、間違えることなく進むことが出来ました。しかも、ヒカリゴケの鑑賞ポイントなども把握しており、植物嗜好のメンバーには予想外の嬉しいイベントになったと思います。

今回の企画は当初、妙義山で実施予定でしたが、参加人数を踏まえ、周りへの影響を配慮して変更となりました。古賀志山も過去に滑落死亡事故があった場所であり、決して容易なコースではありませんが、18名が鎖場を通過する際も登山者の渋滞は一度もありませんでした。L、SL、関係各位の判断は流石だと感じました。最後に、この山行計画を主導し、この山行の後に退会されるSLに心より感謝申し上げます。

